



## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド 愛称: アジア厳選投資

マンスリーレポート

### お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、  
株式会社格付投資情報センターの選定による  
「R&Iファンド大賞2018」において、  
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で  
「優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

※当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

## (愛称: アジア厳選投資)

特化型 マンスリーレポート

基準日 2018年5月31日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則」第17条の3「信用リスク集中回避のための投資制限の例外」第1項第3号を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

## 【運用実績】

| 過去のパフォーマンス(%) | 直近の分配実績(円) |       |           |
|---------------|------------|-------|-----------|
|               | ファンド       |       |           |
| 過去1か月間        | -1.47      |       |           |
| 過去3か月間        | -3.86      |       |           |
| 過去6か月間        | -4.70      |       |           |
| 過去1年間         | 7.38       |       |           |
| 過去3年間         | -          | 第1期   | 2018/5/25 |
| 設定来           | 6.46       | 設定来累計 | 0         |

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。  
従って実際の投資家利回りとは異なります。

## 【資産配分】

| 資産種類      | 比率     |
|-----------|--------|
| 株式        | 90.5%  |
| 投資信託証券    | 0.0%   |
| その他株式関連証券 | 0.0%   |
| 現金その他     | 9.5%   |
| 合計        | 100.0% |

## 【地域・国別配分】

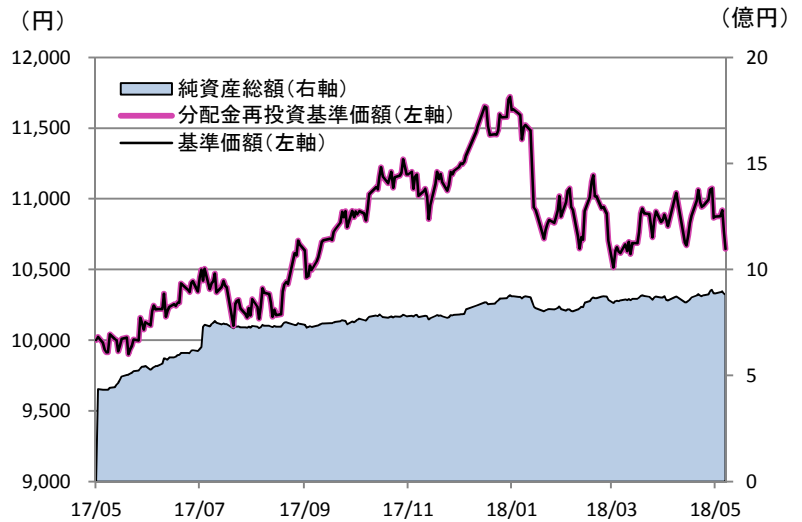
| 国名  | 比率     |        |
|-----|--------|--------|
| 香港  | 31.2%  | 90.5%  |
| 中国  | 12.4%  |        |
| 韓国  | 10.1%  |        |
| 台湾  | 9.5%   |        |
| その他 | 27.3%  |        |
| 現金等 | 9.5%   | 9.5%   |
| 合計  | 100.0% | 100.0% |

## 【通貨別配分】

| 通貨        | 比率    |
|-----------|-------|
| 香港ドル      | 42.2% |
| 韓国ウォン     | 10.1% |
| 台湾ドル      | 9.5%  |
| タイバーツ     | 7.0%  |
| インドネシアルピア | 5.6%  |
| その他       | 16.1% |
| 合計        | 90.5% |

## 【基準価額・純資産総額の推移】

| 基準価額     | 解約価額     | 純資産総額   |
|----------|----------|---------|
| 10,646 円 | 10,615 円 | 8.81 億円 |



※基準価額は、信託報酬等控除後です。  
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。  
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【業種別配分】

| 業種          | 比率    |
|-------------|-------|
| ソフトウェア・サービス | 9.0%  |
| 保険          | 8.2%  |
| 半導体・半導体製造装置 | 7.1%  |
| 銀行          | 6.7%  |
| 資本財         | 6.3%  |
| 公益事業        | 6.0%  |
| 食品・飲料・タバコ   | 5.4%  |
| 運輸          | 4.4%  |
| 食品・生活必需品小売り | 4.3%  |
| 消費者サービス     | 3.9%  |
| その他         | 29.2% |
| 合計          | 90.5% |

\* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

## (愛称: アジア厳選投資)

マンスリーレポート  
基準日 2018年5月31日

## 組入上位銘柄

|       |    |
|-------|----|
| 組入銘柄数 | 34 |
|-------|----|

| NO | 銘柄名   | 国名     | 業種                 | 組入比率 |
|----|---|--------|--------------------|------|
| 1  | AIA Group Limited                                       | 香港     | 保険                 | 8.2% |
| 2  | Tencent Holdings Ltd.                                   | 中国     | ソフトウェア・サービス        | 6.7% |
| 3  | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.            | 台湾     | 半導体・半導体製造装置        | 4.5% |
| 4  | Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.                     | 香港     | 各種金融               | 3.8% |
| 5  | Samsung Electronics Co., Ltd.                           | 韓国     | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 3.7% |
| 6  | Guangdong Investment Limited                            | 香港     | 公益事業               | 3.5% |
| 7  | Airports of Thailand Public Co. Ltd. NVDR               | タイ     | 運輸                 | 3.3% |
| 8  | China State Construction International Holdings Limited | 香港     | 資本財                | 3.3% |
| 9  | DBS Group Holdings Ltd                                  | シンガポール | 銀行                 | 3.2% |
| 10 | LG Household & Health Care Ltd                          | 韓国     | 家庭用品・パーソナル用品       | 3.1% |

\* 業種は、世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

\* 国名は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

## 組入上位銘柄の概要

| アジア<br>太平洋 | 銘柄名   | 国名     | 銘柄概要   |
|------------|---|--------|--|
| 1          | AIA Group Limited                                       | 香港     | 友邦保険控股[AIAグループ](AIA Group Ltd.)は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。   |
| 2          | Tencent Holdings Ltd.                                   | 中国     | 騰訊[テンセント・ホールディングス](Tencent Holdings Limited)は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス(VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する   |
| 3          | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.            | 台湾     | 台湾積体回路製造[TSMC/台湾セミコンダクター](Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.)は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社のIC(集積回路)はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。 |
| 4          | Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.                     | 香港     | 香港取引所[香港証券取引所](Hong Kong Exchanges & Clearing Limited)は、株式取引所、先物取引所、および関連クリアリング・ハウスを運営。取引を処理するための設備を有し、現物ならびにデリバティブ商品などを幅広く取り扱う。   |
| 5          | Samsung Electronics Co., Ltd.                           | 韓国     | サムスン電子(Samsung Electronics Co., Ltd.)は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。            |
| 6          | Guangdong Investment Limited                            | 香港     | 粵海投資[カントン・インベストメント](Guangdong Investment Limited)は、子会社を通じ、水道、発電、配電、インフラ整備などの事業に従事。不動産物件への投資、百貨店の経営、金融サービス事業も手掛ける。  |
| 7          | Airports of Thailand Public Co. Ltd. NVDR               | タイ     | タイ空港公社(Airports of Thailand Public Company Ltd.)は空港開発・管理会社。ドンムアン空港およびスワンナプーム国際空港を運営するほか、チェンマイ、チェンライ、ハッチャイ、ブーケットで地方空港の運営も手掛ける。  |
| 8          | China State Construction International Holdings Limited | 香港     | 中国建築国際集団[チャイナ・ステート・コンストラクション・インターナショナル・ホールディングス](China State Construction International Holdings Limited)は建設会社。子会社を通じて、香港でビル建設や土木工事に従事する。  |
| 9          | DBS Group Holdings Ltd                                  | シンガポール | DBSグループ・ホールディングス(DBS Group Holdings Limited)は金融持株会社。主な業務は、モーゲージローン、貸付、信託・受託業務、資金運用、コーポレートアドバイザーなど。   |
| 10         | LG Household & Health Care Ltd                          | 韓国     | LG・ハウスホールド・アンド・ヘルスケア(LG Household & Health Care Ltd.)は消費者製品メーカー。家庭用洗剤、パーソナルケア製品を製造する。家庭用品部門を通じて美容ケア・デンタルケア・洗濯・クリーニング製品を、化粧品部門を通じてスキンケア・化粧品をそれぞれ販売する。                               |

\* 国名は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社に購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド (愛称:アジア厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2018年5月31日

## コメント

### ■市場環境

当月、アジア株式市場は、全般的に軟調に推移しました。

投資意欲の減退要因となったのは、米ドル高、原油高、米中の貿易摩擦に関する先行き不透明感です。貿易摩擦拡大の影響を最も受けやすいのは、おそらく情報技術、自動車、素材といったセクターでしょう。情報技術関連銘柄の株価は、アジア地域の株式市場では落ち着きを取り戻しました。米国アップル社のサプライチェーン上に位置する企業群の受注見通しは依然低調ですが、投資家の間に株価底入れに対する期待感が生まれたためです。

中国経済のファンダメンタルズは引き続き底堅く、市場改革も順調に進展しています。関税率の引き下げや撤廃が追加で行われ、外国製品に対する国内市場の開放が進みました。

香港では、中国本土からの観光客が戻ってきたことから、小売売上高が数カ月連続で増加しています。

韓国でも、同様の状況が起きつつあることは、免税品の売上高が伸びていることから明らかです。

マレーシアでは、総選挙で、中国の一路構想を推進すると自国が不利益を被ると見る野党連合が勝利を収めたことで、同構想の一環としてマレーシア国内で進められているプロジェクトの先行きを懸念する声が上がりました。マレーシアの政府総債務残高の対GDP（国内総生産）比は高止まっており、新政権が掲げた物品サービス税の廃止、高速道路の無料化、燃料補助金の復活などの選挙公約が実行に移されると、同国は財政状況悪化の可能性があります。

シンガポールの銀行の決算は堅調で、資産の質、株主資本利益率（ROE）、純利息マージン（NIM）は改善してきています。

### ■運用状況

当月、当ファンドの保有株式リターン（現地通貨ベース）は、マイナスでした。また、多くのアジア通貨が対日本円で下落したため、当ファンドのパフォーマンスは、前月末比1.47%下落しました。

国別では、中国などがプラスに貢献し、韓国、香港などがマイナスに影響しました。

セクター別では、ヘルスケア・セクター、公益事業セクターなどがプラスに貢献し、一般消費財セクター、情報技術セクターなどがマイナスに影響しました。

個別銘柄では、Bangkok Dusit Medical Services（タイ）、Guangdong Investment（香港）などがプラスに貢献し、Samsonite International（香港）などがマイナスに影響しました。

Bangkok Dusit Medical Services（タイ）は、プラスに貢献しました。同社は、タイ最大の民間病院事業者で、複数のブランド名で合計45の病院を運営し、中所得者層から富裕層まで、様々な層の患者の治療を手がけています。タイでは、1人当たり所得の増加と高齢化に伴って医療需要が拡大しており、同社は、その恩恵を最も受けやすい位置にいると考えられます。最近の株価上昇は、設備投資がピークを過ぎ、2020年までの病院増設計画が5件に留まっていることから、今後、同社のキャッシュフローが改善するという予想によるものと思われる。来院者数の増加と治療内容の充実によって、設備稼働率と料金が上昇しており、来院者数増加の背景には、同社が社会保険被保険者の顧客獲得に力を入れていることもあるようです。医療ツーリズムも好調な伸びを示しており、とりわけ、中国からの来訪者が増えています。さらに、新設のウェルネスセンターも、富裕層向け市場における同社の優位性に、今後寄与するものと思われる。株価収益率（PER）は35倍程度で、バリュエーションは比較的高水準にありますが、当ファンドは、成長市場におけるリーダーとしての強固な立ち位置、キャッシュフローとROE（株主資本利益率）の改善を踏まえ、同社を引き続きポジティブに見ています。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・新・国際優良アジア株ファンド (愛称:アジア厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2018年5月31日

## コメント

(前ページより)

スーツケースや旅行鞆の製造と販売を手がける世界的大手企業のSamsonite International (香港) は、マイナスに影響しました。同社は、一部の空売りファンドから「高級ビジネスバッグの米国TUMI社買収後の利益を吊り上げるため、買収過程で買掛金と在庫を操作した」と指摘されたことから、株価が下落しました。一部の空売りファンドは、さらに、同社の最高経営責任者 (CEO) ラメシュ・タインワラ氏がSamsonite India社の合弁企業の株式を保有していることにガバナンス上の問題があるとして、その合弁企業と同社の取引に疑問を投げかけています。同社は不正取引疑惑浮上の数日後、指摘に対する反論とラメシュ氏の辞任を発表しました。同氏の後任には、最高財務責任者 (CFO) のカイル・フランシス・ジェンドレウ氏が就任しました。当ファンドは、今後の動向を引き続き注視していきませんが、会計上の問題に関する同社の説明には合理性があり、現時点ではラメシュ氏の辞任で、関連当事者間の取引に対する懸念が多少和らいだと考えています。

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた優良企業を選別していきます。

### ■今後の見通し

投資家が短期的なリスク要因とみなしているのは、貿易摩擦に対する懸念、金利の上昇、想定を超える経済成長の鈍化です。企業は、関税が課せられる可能性のある国への投資を渋る傾向があるので、関税率の先行きが長期的に見通せない、資産配分の決定に影響が及ぶ可能性があります。米国の金利上昇は、短期的にはASEAN諸国からの資金流出を促し、アジア地域通貨の下落を招きます。ただし歴史的に見ると、ASEAN諸国の通貨安は輸出の増加を通じて、経済全体にプラスの効果をもたらしてきました。

中国の大手通信機器メーカーZTE社が先日、米国商務省から制裁を科されたことで、中国は、主要先進テクノロジー分野における「弱さ」を露呈しました。中国の半導体需要の90%は輸入で賄われていますが、これは金額にするとおよそ2,000億米ドルに相当し、中国の原油輸入額を上回っています。中国政府は、同国半導体業界に対する支援をますます強化してこの問題に対処する見込みで、そうすると、当ファンドの保有銘柄であるTaiwan Semiconductor Manufacturing Company (台湾) とSamsung Electronics (韓国) などに影響が及ぶため、当ファンドは、今後の展開を注視しています。

テクノロジー企業の収益力は、世界的に見て依然として好調です。アジア地域には、ショートビデオ、eスポーツ、eコマース、フィンテック、さらにAI (人工知能) アプリケーションなどの最新トレンドを形成しているテクノロジー企業が、多数存在します。こうした企業の多くは、いずれ上場すると思われるため、当ファンドは投資により、その成長の恩恵を得ることが出来るようになるでしょう。例えば、中国のアリババグループの金融関連会社Ant Financials社と中国の総合家電メーカーXiaomi社は、近日中に香港市場で上場すると言われていいます。両社の新規株式公開 (IPO) が実現すれば、香港証券取引所の活性化にも繋がると、当ファンドは考えます。

アジア地域には、人口構成の推移や消費行動の変化、インフラ投資、新たなセクターや市場の興隆といった構造的な下支えがあることから、投資家にとっては長期的な観点で投資を行って利益を得る機会が、豊富に存在すると考えられます。当ファンドは、インフラや消費関連銘柄など長期的なテーマの恩恵を受ける優良銘柄を重視することで、短期的な取引の回避に努めています。アジア地域は、こうした長期的な構造の変化を捉えることができる、質の高い投資先候補銘柄が多く存在する地域であると考えられます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求、お問合せは販売会社まで。



## 愛称: アジア厳選投資

### ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、アジア(除く日本)の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

### ファンドの特色

#### 1. マザーファンド受益証券を通じて、アジア(日本を除く)の新・国際優良企業に投資します。

- ◆ 強固なビジネスモデルから長期的、安定的にキャッシュフローを生み出し、今後、世界的に評価される可能性の高いアジア企業を中心に投資します。
- ◆ 当ファンドの参考指数である「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)\*」の採用国及び地域の株式を中心に実質的に投資します。ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。当ファンドの主要投資対象国は中国、香港、台湾、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、インド、インドネシアなどです。

※投資対象国の制度等により、上記投資対象国の株式へ投資ができない場合があります。

※日本を除くアジア地域に本社のある企業でアジア地域以外の上場株式も投資対象に含まれます。

※全ての採用国及び地域に投資するとは限りません。また、主要投資対象国は今後変更される場合があります。

\*「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」は、MSCI Inc.が発表している MSCI AC Asia ex Japan Index(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

また、MSCI AC Asia ex Japan Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc.に帰属します。また MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI Inc.は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

#### 2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、30銘柄程度に厳選投資を行います。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

#### 3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

マンスリーレポート

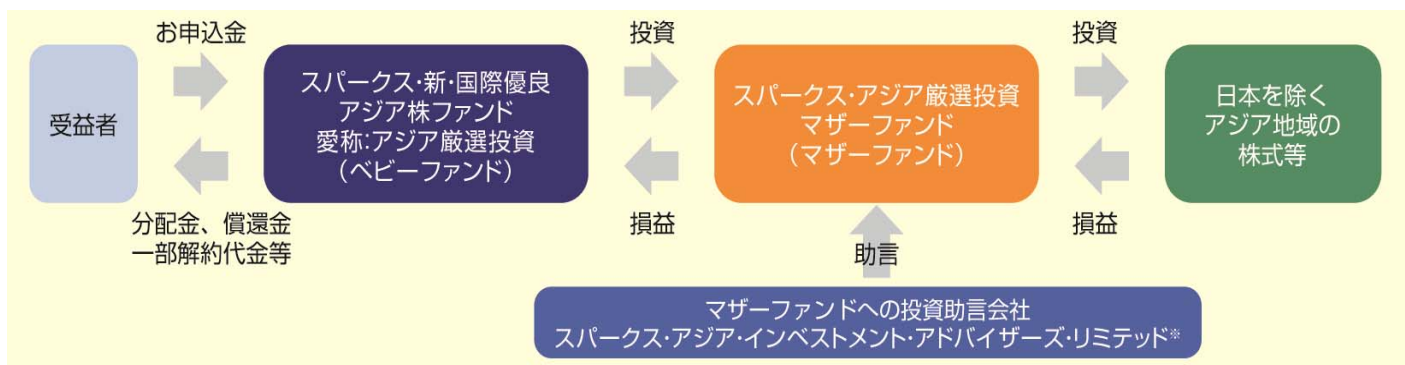
愛称: アジア厳選投資

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式<sup>※</sup>により、日本を除くアジア地域の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドのアジア株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※ スパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドは、香港を本拠地とする SPARX グループの一員であり、アジア地域への投資やオルタナティブ投資を強みとする投資助言会社です。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

マンスリーレポート

## 愛称: アジア厳選投資

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて海外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

## 価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

## 新興国市場への投資リスク

当ファンドは、実質的に新興国市場への投資を行います。新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

## 為替変動リスク

当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

## 集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

## 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## その他の留意事項

## ●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。





## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

マンスリーレポート

## 愛称: アジア厳選投資

## お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

|          |  |
|----------|--|
| ファンド名    | スパークス・新・国際優良アジア株ファンド(愛称:アジア厳選投資)   |
| 商品分類     | 追加型投信/海外/株式  |
| 信託期間     | 無期限(2017年5月26日設定)  |
| 決算日      | 毎年5月25日(休日の場合は翌営業日)  |
| 収益分配     | 原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。                       |
| お申込時間    | 各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。                                  |
| お申込単位    | 販売会社が定める単位   |
| お申込価額    | お申込受付日の翌営業日の基準価額   |
| お申込不可日   | 販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。<br>・香港証券取引所または台湾証券取引所のいずれかが休業日の場合<br>※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 解約価額     | 解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額   |
| ご解約不可日   | 販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。<br>・香港証券取引所または台湾証券取引所のいずれかが休業日の場合<br>※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 解約代金の受渡日 | 解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。   |

## お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## 【お申込時】

■お申込手数料: お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.24%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

## 【ご解約時】

■信託財産留保額: 解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対して **0.3%** の率を乗じて得た額

■解約手数料: なし

## 【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.89%(税抜 1.75%)**

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率 0.108%(税抜 0.10%))

(2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



## スパークス・新・国際優良アジア株ファンド

マンスリーレポート

## 愛称: アジア厳選投資

## ファンドの関係法人について

## ●委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号  
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

## ●受託会社 三井住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

## ●販売会社 下記一覧参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

| 販売会社                  |          | 登録番号                | 加入協会    |                         |                         |                            |
|-----------------------|----------|---------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                       |          |                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引<br>業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問<br>業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 株式会社SBI証券             | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第44号  | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 岡三オンライン証券株式会社*        | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第52号  | ○       | ○                       | ○                       |                            |
| 高木証券株式会社              | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長<br>(金商)第20号  | ○       |                         |                         |                            |
| 西日本シティTT証券株式会社        | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長<br>(金商)第75号 | ○       |                         |                         |                            |
| マネックス証券株式会社           | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第165号 | ○       | ○                       | ○                       |                            |
| 楽天証券株式会社              | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第195号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| スパークス・アセット・マネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長<br>(金商)第346号 | ○       |                         | ○                       | ○                          |

\* 岡三オンライン証券株式会社は、6月25日(月)より取扱開始予定

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。